



2020 (令和2) 年3月号  
新座市精神障害者家族会やすらぎの会  
〒352-0023 新座市堀ノ内3-4-11  
社会福祉法人にいざ内

第235号 電話 048(482)5155

### 3月例会 中止にしました

3月13日(金)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大でイベントなどの自粛が要請される中、やすらぎの会の会員には、感染すればリスクが高いといわれる高齢者が多いので、万が一の場合を考え中止といたしました。

毎日、新型コロナウイルスのニュースがテレビでも新聞でも報道され、これから年度末、そして新年度の様々な準備を控えているのに、どうなっていくのか心配です。早く終息することを願っています。皆様も感染しないようくれぐれもご注意ください。

さて先日、みんなねっとフォーラム2020が開催されました。その中からいくつかを紹介いたします。会場となった「としま区民センター」は新しくきれいな会場でした。

**は**じめに「精神保健医療福祉の近未来展望」というテーマで、山之内芳雄氏(国立精神・神経医療研究センター研究部長)の講演がありました。講演の要点を冊子から紹介します。…………「精神障害にも対応した地域包括ケア」…………

精神保健医療福祉施策は、1960年代から始まった病院収容の時代を経て、2000年ころより「病院から地域へ」に大きく舵を切った。今振り返ると、1960~80年代に入院した多くの長期入院者を病院から開放する考え方にもなり、それは「病院 V.S. 地域」とも捉えられるようになったと思われる。

その間、日本の精神保健医療福祉をめぐる環境は大きく変わり、高齢化・地方の過疎化、第2世代の抗精神病薬やSSRIといった新薬の開発と普及、早期の医療受診、職場や学校のメンタルヘルス・認知症の増加・発達障害の顕在化など、慢性の統合失調症だけではない広がりを見せた。しかし、施策はなかなか「病院から地域へ」から抜け出せないでいると思われる。

そう言っている間に、かつて1960~80年代に入院した多くの長期入院者は寿命を迎えつつあり、新たな長期入院者を考慮しても、減っていくことを私たちは推計した。

今、何を考え取り組まなければならないのか。それは、多様な精神疾患「にも」、病院「にも」、障害福祉では他の障害同様精神「にも」、介護においても精神「にも」対応した、地域包括ケアであろう。しかし、皆が今までの考えや仕組みを変えることは難しく、その構築が少しずつ始まろうとしている。

**最**後の講演は松原病院の松原三郎氏です。「これからの精神科病院はどうあるべきか~そのためにできること~」として以下のように考えを述べています。

2004年に精神保健福祉施策の改革ビジョン「入院医療中心から地域生活中心へ」が示されてから16年が経ちました。15年目では、全国の入院患者数は32.5万人から28.9万人と4万人減少しています。

そして、2014年には、「今後の精神保健福祉のあり方検討会」では「精神疾患にかかった場合でも、質の高い医療の提供、症状・希望等に応じた適切な医療・福祉サービスが提供され、地域で安心して自立した生活を継続できる社会を目指す」が示され、さらに、2019年の第7次医療計画では、「精神障害者にも対応した地域ケアシステムの構築」が示された。

地域ケアシステムでは、地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)の目標を明確にした上で、障害福祉計画等と整合性を図りながら精神保健医療福祉体制の基盤整備を推し進めるとされています。

このような精神医療改革の中では、精神科病院内の機能分化が重視されてきました。特に、精神科救急病棟と精神科急性期治療病棟が精神科医療の改革に大きな役割を果たしました。これまで多くの精神科病院は多数の長期入院患者を抱えていましたが、急性期型病院では入院治療期間の短縮と治療の質の向上がもたらされました。そして、短期間(3ヶ月以内)に退院を目指すために、地域医療(訪問診療や訪問看護)を強化したり、地域内の福祉施設(グループホームや自立訓練施設)との連携を進めたりするようになりました。

他方で問題となるのは、このような病院治療の中で果たして、患者の希望や人権が十

分に守られるかという問題があります。実際、わが国の強制入院（措置入院と医療保護入院）を受けている患者数は英国の4倍近くにも昇り、重大であるべき強制入院が安易に行われています。

この問題を当事者、家族会や弁護士会声を上げて以降、各精神科病院は隔離・拘束を少なくする努力（その人数と日数時間）をするようになりました。また、地域移行に当たっては、本人の希望に沿った退院後支援計画も重視されるようになりました。

精神科病院は病院のためにあるのではなく、患者とその関係者や一般市民の声が反映される開かれた病院であるべきだと考えます。

## 研修会等のご案内

第66回 こんぼ亭

### 「居るだけでいい」を考える

話題の本「居るのはつらいよ」の著者が「居るだけでいい」について語ります

演者：東畑開人氏（十文字学園女子大学准教授・白銀高輪カウンセリングルーム主宰）

日時：4月25日（土）13:00～15:30（12:30開場）

会場：行徳文化ホール I&I 市川市末広1-1-48

参加費：事前申込み2000円（賛助会員）3000円（一般） 当日参加3500円

事前申し込み締め切り 4月17日（金）

問合せ：047-320-3870 地域精神保健機構（NPO コンボ）

### ※研修会中止のお知らせ

○4月12日に予定しておりました、青木聖久先生のBブロック研修会は、新型コロナウイルス対策のため 中止となりました。

○4月25日予定の、後援会と家族会総会後の研修会については、今年度は実施しないことになりました。

○定期総会については、改めてご案内いたします。

## 【今後の予定】

4/01（水）にいざ後援会役員会	10:00～12:00	（堀ノ内集会所）
4/07（火）臨時役員会（会計監査）	10:00～15:00	（生活支援センター）
4/17（金）4月例会（役員会 13:00～）	14:00～16:00	（中央公民館視聴覚室）
4/24（金）埼家連・理事会・役員会	10:30～16:00	（県交流センター）
4/25（金）後援会・家族会定期総会	10:00～16:00	（新座市民会館）
5/15（金）埼家連 役員会	10:30～15:00	（県交流センター）
5/20（水）やすらぎの会日帰り研修	09:00～16:00	（未定）

## 4月例会のお知らせ

日時：4月17日（金）14時～16時

場所：中央公民館視聴覚室

内容：令和2年度家族会に望むこと

（やってほしいこと、やりたいことを出し合ひましょう）

役員会 13:00～

## 家族相談日

### 4月の家族相談はお休みします

困りごと、相談したいことがありましたら

お電話ください。 鶺鴒（080-1053-7816）

※埼家連の「心をつなぐ家族電話相談」もご利用ください

☎ 080-6685-2128（携帯）

相談日 毎週 月～木（金、土、日、祝日 は休み）

10:00～12:00 13:00～15:00

